

# 奈良県感染症情報

平成 28 年 16 週( 4 月 18 日～ 4 月 24 日)

奈良県感染症情報センター（奈良県保健研究センター）

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

## 今週の概要

- 月報告対象疾患報告状況(平成 28 年3月報)

### ◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	5.18	(5.91)	➡	➡	➡	⬆️⬆️
2	A群溶連菌咽頭炎	1.65	(1.38)	➡	⬇️	↗️	⬆️
3	インフルエンザ	1.59	(2.70)	⬇️	⬇️	⬇️	⬇️
4	突発性発しん	0.65	(0.53)	⬆️	➡	⬆️	⬇️
5	流行性耳下腺炎	0.50	(1.41)	⬇️	⬇️	⬇️	⬇️

発生状況: 大流行 流行 やや流行 少し流行 散発 (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 ⬆️⬆️急増、⬆️増加、↗️やや増加、➡横ばい、⬇️やや減少、⬇️減少

## ◆ 県内概況 ◆

感染性胃腸炎は、奈良市保健所、中和保健所西部（旧葛城保健所）管内からの定点あたり患者報告数が特に多く、1～4歳児の患者が約半数を占めています。この時期の感染性胃腸炎の原因となるウイルス（ノロウイルスやロタウイルス等）は、感染力が強く、症状が良くなってからもしばらくは便中に排出されます。便や嘔吐物を処理した後や食事の前は特に十分な手洗いが必要です。

これから暑くなると、子どもの夏の感染症（咽頭結膜熱やヘルパンギーナ）の流行が始まります。ともに6月ごろから急増する疾患ですが、すでに4月から患者報告は増えてきています。手洗い・うがいを心がけ、おもちゃ・タオルの共用を避けるなど予防に努めてください。

## ❖ 小児科外来情報 ❖

### 北部地区(矢追医院)

気候がよくなり感染症は少なくなっています。インフルエンザはここ 2 週間感染者はありません。ロタウイルスによる感染性胃腸炎が保育園児で流行しています。ただ、ワクチン普及のためか発熱や嘔吐が軽い場合が多いようです。流行性耳下腺炎は少なくなってきましたが、小学校以上で見られます。春に流行するRS やヒトメタニューモウイルスは少ないようです。

### 中部地区(岡本内科こどもクリニック)

インフルエンザは前週 B 型が 1 例あったのを最後に確認例はない。感染性胃腸炎は少しずつ流行。春先のウイルス感染症のパターンで流行性耳下腺炎、水痘が流行中、伝染性紅斑も 1 例あった。

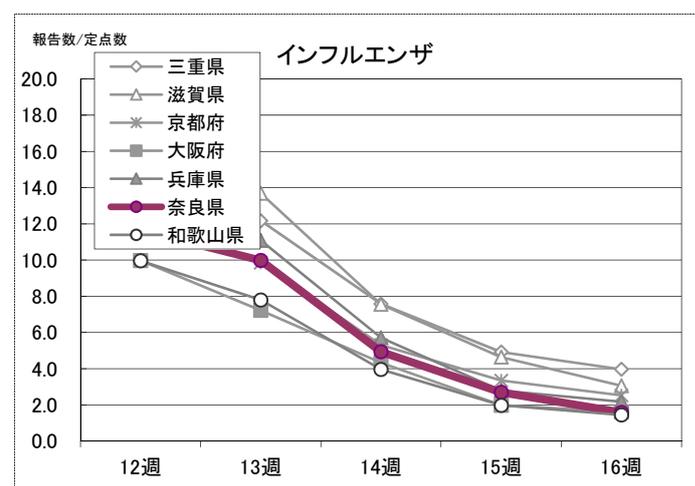
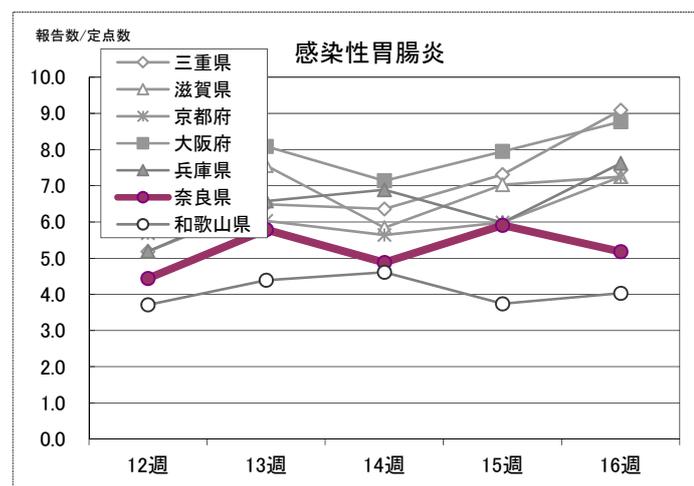
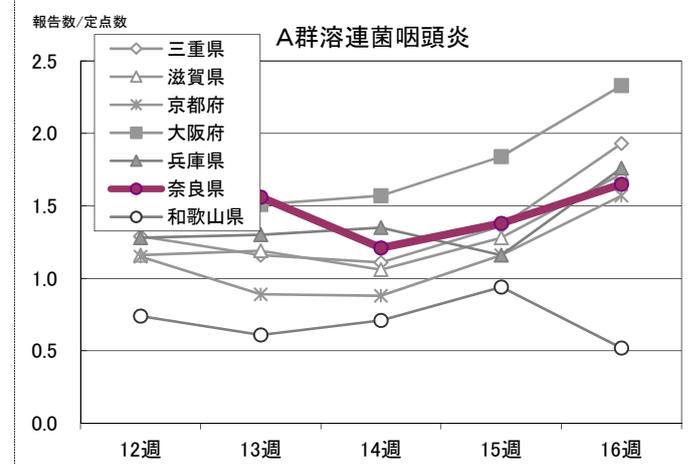
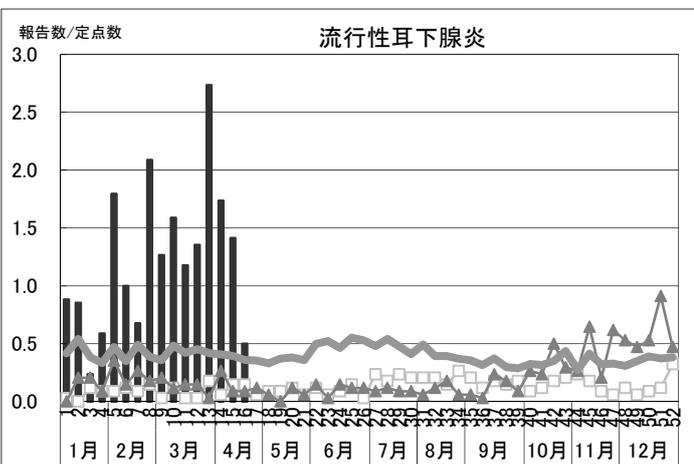
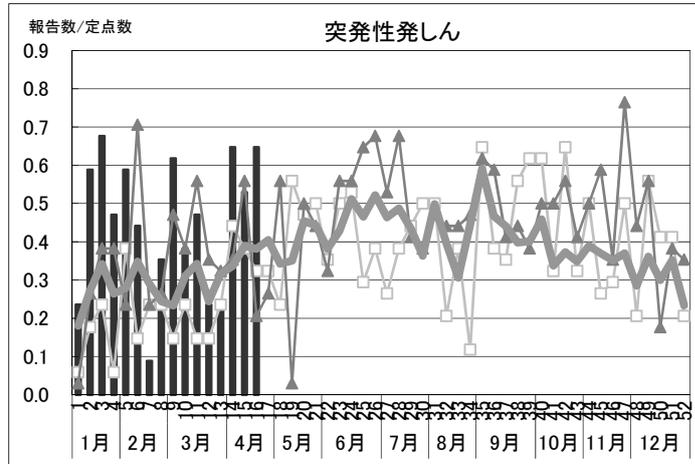
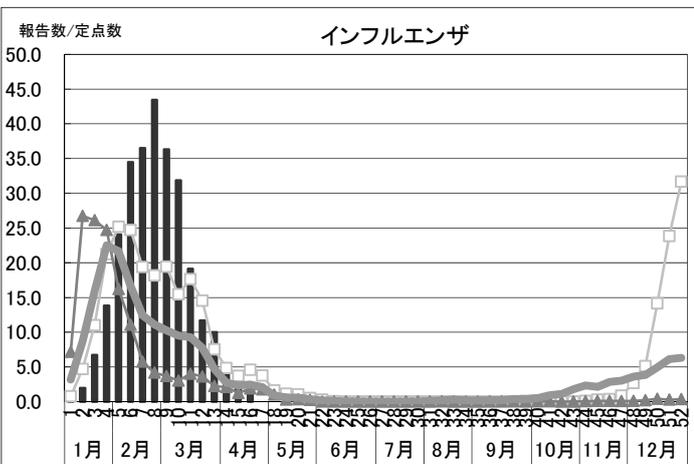
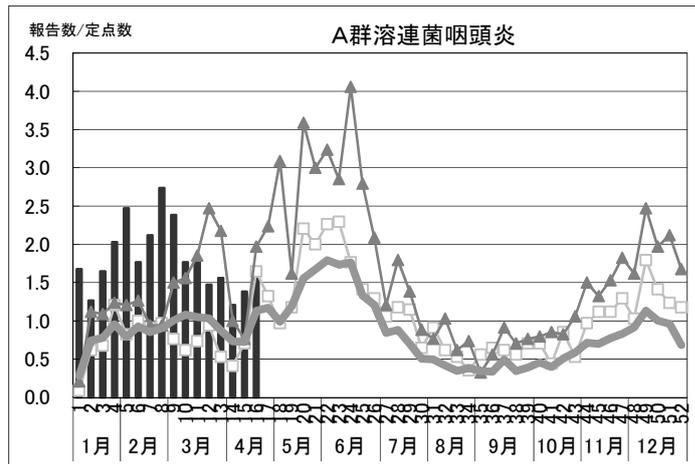
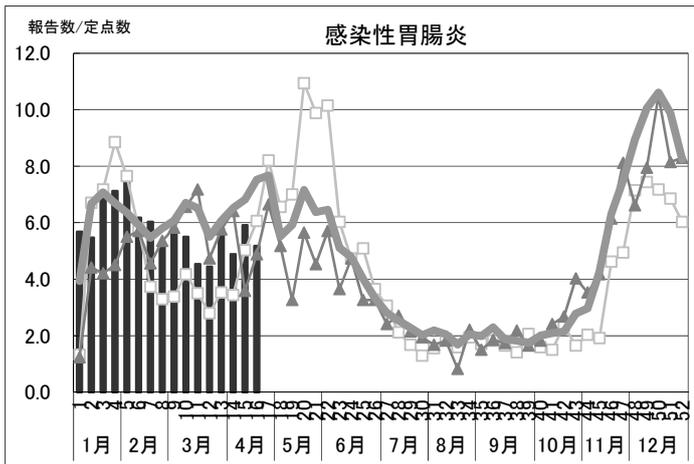


次週（第 17 週分）の発行は、5 月 10 日(火)午後になります。



❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数

■ H28 ▲ H27 □ H26 〰 過去10年平均



❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 28 年 3 月

	奈良県		北部		中部		南部		上段：報告数													合計	累計			
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野	年齢	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64			65-69	70-	
性感染症定点数	9	3	2	2	0	0	年齢	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-	合計	累計	
性器クラミジア感染症	10 (1.11)	2 (0.67)	4 (2.00)	1 (0.50)	3 (1.50)	...	男女						2	1		1	1	2						7	12	
性器ヘルペス	4 (0.44)	2 (0.67)	1 (0.50)		1 (0.50)	...	男女							1		1			1	1				2	2	
尖圭コンジローマ	4 (0.44)		4 (2.00)			...	男女						1	1			2							3	8	
淋菌感染症	2 (0.22)		1 (0.50)	1 (0.50)		...	男女									1								1	5	
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	年齢	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-	合計	累計	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	25 (4.17)	9 (9.00)	2 (1.00)	7 (7.00)	7 (7.00)	...	男女			1									1	1	1	1	7	12	85	
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症						...	男女								1	1			2	2			7	13	41	
薬剤耐性緑膿菌感染症						...	男女																			15
						...	男女																			2

(下段)：定点当たり報告数 報告数÷定点数

累計は、2016年1月からの累計

❖ 対象疾患の動向 ❖ 全て報告数

